

石材用シミ取り湿布吸着剤

イシクリーンシリーズ

サブペースト

ネンドル

「ネンドル」は、高吸水性湿布剤です。イシクリーンシリーズ洗剤と練り合わせペースト状にし、石材の汚れた部分に湿布して使用します。通常のクリーニングでは落ちにくい石材の内部に浸透した、シミ、汚れを石材を傷める事なく除去します。また、危険物ではありませんので、作業性も良好です。

石材に浸透したシミ、汚れを除去する際には「ネンドル」をイシクリーンシリーズ洗剤と合わせてご使用下さい。

「ネンドル」は、洗浄剤と練り合わせペースト状にし「石」の汚れた部分に湿布して使用します。

【石材に対する効果・特長】

1. 石材内部で洗浄剤により分解されたシミ、汚れを吸着します。
2. 「ネンドル」は、「石」を傷めることはありません。
3. イシクリーンシリーズ洗浄剤と簡単に練り合わせることができます。

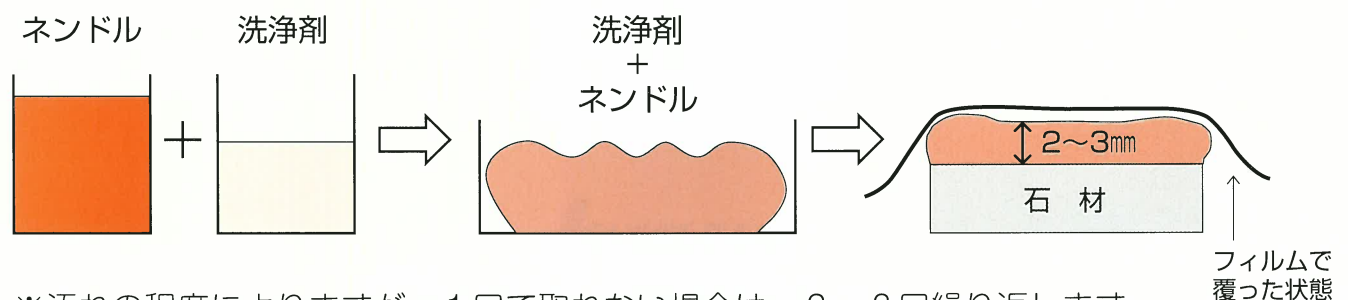
【使用方法】(下図参照)

- ① シミ、汚れの種類によりイシクリーンシリーズ洗浄剤を選定します。
(※イシクリーンシリーズ洗浄剤カタログを参考にしてください。)
- ② 石材に付着したシミ、汚れの表面を水で湿らせます。
汚れに合わせ、適切に希釈した洗浄剤をシミ、汚れの部分に塗布します。
- ③ ネンドル1kgに対して洗浄剤を下記の割合で混ぜ合わせ、良く練り合わせペースト状にします。

ネンドル1kgに対する洗浄剤の割合(目安)

オイルゲッター	2.4L
・アブラリムーバー ・イシノールハクリ ・イシクリーンスーパーSP ・オウトロン	2.6kg

- ④ 洗浄剤を塗布した部分が完全に覆われるように、厚み2~3mm程度になるよう③で混合したペースト状の「ネンドル」を貼り付けます。
さらに、洗浄剤が蒸発しないように、ポリエチレンフィルム等で覆います。
- ⑤ 汚れの程度により3~24時間養生します。
- ⑥ 養生後、ポリエチレンフィルムを取り、ネンドルが乾燥するまで放置します。
- ⑦ 乾燥後、「ネンドル」を取り除き、石材を傷めないようブラッシングしながら、十分に水洗します。

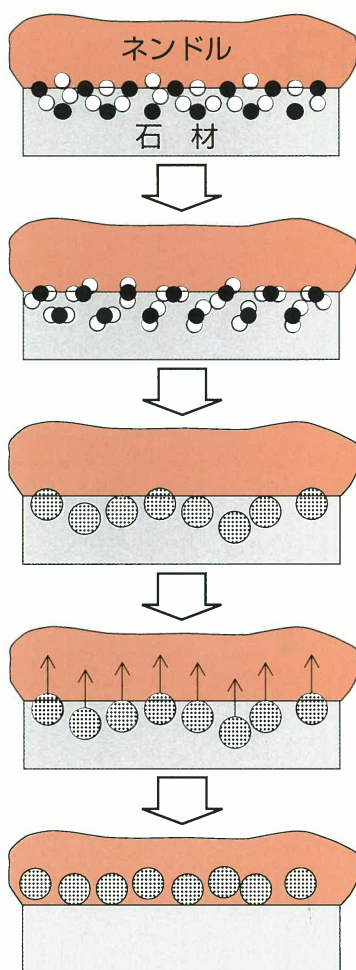


※汚れの程度によりますが、1回で取れない場合は、2~3回繰り返します。

イシクリーンシリーズ洗浄剤は、それぞれの取扱説明書にしたがい、正しくご使用下さい。作業には、必ずゴム手袋を使用して下さい。

ネンドルの洗浄の仕組

- 洗浄剤
- シミ、汚れ
- ⊙ 分解された汚れ



- ① 選定した洗浄剤を塗布します。その上にペースト状に練り合わせた「ネンドル」を貼り付けます。（洗浄剤を浸透させてから貼り付けて下さい。）
- ② 洗浄剤とシミ、汚れが反応します。
- ③ シミ、汚れが洗浄剤によって分解されます。
- ④ 分解したシミ、汚れを「ネンドル」が吸着します。
- ⑤ 洗浄完了です。

【使用上の注意】

1. ネンドルと洗浄剤を混ぜる時は、必ずゴム手袋を使用して下さい。
2. 眼に入った場合は、水でよく洗い流し、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
3. 湿気のない所で保管して下さい。特に開封後は、注意して下さい。
4. 使用した「ネンドル」は、不燃物として処理して下さい。
5. 安全な取扱いにつきましては、安全データシート（SDS）をご参照下さい。

【荷 姿】

2kg箱×6（ダンボール箱入り） 10kg（ダンボール箱入り）

【塗布量】

約1.5㎡(厚み2～3mm)/1kg

【イシクリーンシリーズ】

石材用洗浄・シミ抜き剤

さびとれ花子 (御影石専用サビ・水アカ等の除去剤)

分散太郎 (さびとれ花子の中和剤)

※ イシクリーンスーパーSP (多種石材用シミ・アク抜き剤)

ハクリセーフ (樹脂ワックス・塗料膜の剥離剤)

メンテクリーナー (メンテナンス用中性洗浄剤)

※ アブラリムーバー (動植物油用洗浄剤)

※ オイルゲッター (鉱油用洗浄剤)

エフロクラッシュ (白華専用洗浄剤)

※ イシノールハクリ (シリコーン系保護剤の除去)

アルクリーナー (重汚染用アルカリ洗浄剤)

サビクリーン (鉄サビ専用洗浄剤)

モクアクリン (木アクシミ専用洗浄剤)

パワー花子 (酸性強力洗剤 フッ化水素酸 4%以下配合)

パワー花子スーパー (酸性強力洗剤 フッ化水素アンモニウム 15%以下含有 医薬用外劇物)

※ オウトロン (嘔吐染みの除去)

スケールクラッシュ (スケールの除去)

※印は、ネンドルと使用できるイシクリーンシリーズ
詳しくはカタログを参考にして下さい。



〒940-0061 新潟県長岡市城内町3-7-8
Tel:(0258)32-4453 Fax:(0258)32-4669
URL <http://www.konsho.co.jp>